



世界中が静かに新しい年を迎えました。これまでの当たり前が、当たり前ではなかったことに気づき、日常の中の小さなことにもあらためて幸せを感じるようになりました。子どもたちには、私たちのように現在と比べる「かつての生活」の歴史はそうありません。「今」が、全てです。「今」が「普通の暮らし」なのです。子どもたちの“人とのかかわり”を少しでも増やし、“体験からの学び”を積み重ねてあげたいと切に思います。

子どもの内面を読み取る



保育者は「子ども理解」がすべてと言っても良いほど、目の前の子どもをどのように理解するか・・・を、とても大切にしています。Yちゃん（10 か月）の目は、今、何を見て、何を考えているのか、どこに向かってどのように進み、何をしようとしているのか、私たち保育者も感覚を研ぎ澄ませ、心を重ね、見守ります。学生と保育を考えると、まずは子どもの内面を読み取ることを真剣に丁寧にします。子どもの人権を尊重し、子どもの意思を尊重し、子どもの持つ限りない力を信頼します。そして、愛し、任せ、信じ、見守ります。これが、桜の聖母短期大学「親と子のひろば」が大切にしてきた理念です。

私は、このYちゃんの意思が感じられる目が大好きです。

雪が降ったよ

2020年12月18日の朝、雪がたくさん降った後の快晴です！ 雪遊び日和です！ 畑も築山も池も雪に埋もれて一面真っ白な世界です。

最初は保育室で遊んでいた子どもたちですが、誰かの「雪で遊んでくるね」の一言を聞いた途端、上着を着て靴下を履いて、あっという間に身支度完了！ 「早く、早く」と大人が催促されるほどです。



目的があると、誰に言われなくても自分で動く子どもたちは、とても正直ですね。





あっという間に身支度を整えて、一面の銀世界に飛び出しました。小さな両手を使って、両足を使って、全身で雪の感触を味わいます。

大人たちは、子どもたちの喜ぶ顔が見たくて、大きな雪だるまを作りました。それにしても、この大きさ・・・！ 相当な重さです。さすが、子育てしている母たちは力持ちです。

遊んだ後の庭には、かわいい足跡がいっぱいです。築山の頂上に登っていい顔をしていたKちゃん(4歳2か月)。雪に反射した眩しさと、頬にあたる冷たい空気と、見ていてくれるお母さんの眼差しから多くのことを感じたことでしょう。



KちゃんとSちゃん(3歳10か月)は、去年の経験から雪遊びの楽しさを知っていますが、Rくん(2歳8か月)Hくん(1歳11か月)にとっては、雪遊び初体験になったかな。



人形もお友達



よく見てみると、お馴染みのぬいぐるみたちそれぞれにご馳走していますね。Sちゃんが大好きなパンダの前には、ホールケーキが置かれています。子どもは見立て遊びをしますので、ぬいぐるみたちも大切な友達です。

先日、私がぬいぐるみを持ってなりきり、絵本に描いてあるご馳走を食べる真似をしたところ、その子は喜んで他のご馳走もくれました。そこにいたお母さんが、「ぬいぐるみは、どうやって遊んだら良いのか分からなかった」と仰っていました。



こちらでは、小さな袋（使用済みの封筒でも可）を揉んで柔らかくして、袋人形を作って遊びました。ボタンやリボンをつけて手を入れて動かすだけで、子どもとお話してできてしまいます。Ｙちゃん（10か月）のお母さんも手作りの袋人形で話しかけています。子どもは「目鼻口」のあるものが大好きです。



軍手人形「カラスの親子」は、最近子どもたちに大人気！カラスの子どもたちが「眠れない、眠れない」とお母さんを困らせるのです。その都度、お話ししてもらったり、頭をなでてもらったり、寝る前の誰かさんみたいで親近感が湧くのでしょうか。



『おんぶひも』と『抱っこひも』を体験させていただきました



学生の実習先を訪問した時のこと。「おんぶ紐でおんぶが出来ない新任保育士が多い」と聞きました。震災を経験しているため、避難訓練の重要性もこれまで以上に感じている保育現場の声でした。

勿論、授業でおんぶの練習はしていますが、相手は人形です。動きません。そこで、保育室にもおんぶ紐を用意してみました。

おんぶ紐を用意した意図を知ったお母さんが「学生さん、練習してみますか？」と声をかけてくださいました。「ぜひお願いします！」卒業間近の2年生が、挑戦します。



お母さんたちも「おんぶすると両手が使えて家事もできるのよね～」とおんぶの良さを伝えてくれます。

続いて、最新の“抱っこ紐”も体験させていただきました。Sちゃん（10か月）と学生は思わず見つめ合っています。

「反対向きで抱っこすると、同じ方向の景色を見られるのよ」
「なるほど……。でも、転んだら大変ですね」
みんなで勉強会ができました。



大きくなった子どもたち・・・お久しぶりです！



12月末、幼稚園も冬休みに入り、以前参加してくれていた大きい子どもたちも遊びに来てくれました。一緒に大型絵本を見たり、懐かしいわらべうたを楽しんだりしました。

私たちも成長した姿を見ることができて嬉しかったです。

来てくれてありがとう！

次の年度の味噌仕込み

今年度は、保育室で作って食べる活動ができず残念でした。毎年「親と子のひろば」で作っている米味噌は、学生たちが味噌玉にしてくれましたので、毎回みなさんにお持ち帰りいただき、ご家庭で味わっていただいています。素材のもつ旨味、身体に良いものを摂る意識を小さいうちから持たせてあげたいと思っています。

来年度の味噌は、食物栄養専攻の市川先生のご指導のもと衛生面の配慮をしながら学生たちが作ってくれました。現在、保育室で眠っています。味噌ができる4月頃、みんなで一緒に味わえたら嬉しいです。

卒業する学生たちは、それぞれの保育現場で「桜の聖母の米味噌レシピ」を受け継いで、多くの子どもたちと味噌作りをしてくれることを期待しています。



文責 奥田美由紀

今後の予定

2月26日（金）

※ 3月は、未定です

これまでは、予約サイトでの申し込みおよびキャンセルは当日朝9時までとしていましたが、現在は時間の制限を設けておりません。開催中も予約サイトを見て空きがございましたら、途中からでも是非ご参加ください。



桜の聖母短期大学

🏠 福島市花園町 3-6

☎ 024-534-7137

（代表）

